

# COLOR TUNER、 FLEX PACK、 PRESS MATCHER、 X GAMUT

## インストールガイド



CGS ORIS GmbH

ドイツ

2024/07/22



## 著作権

© 2024 CGS ORIS GmbH. All rights reserved.

本ドキュメントの全部または一部は、CGS ORIS GmbHの書面による承諾がない限り、いかなる形態あるいは手段(電子的、機械的、写真複写、録音、またはその他の方法)においても、複製、発行、翻訳、または送信することはできません。

Protected by U.S. Patent 7,365,876.

## 商標

COLOR TUNER、FLEX PACK、PRESS MATCHERおよびX GAMUTは、CGS ORIS GmbHの登録商標です。

MicrosoftとWindowsは、Microsoft Corporationの商標です。

本ドキュメントで言及されるその他すべての商標は、それを保持する各社に帰属します。

## 保証の否認

適用される法律により最大限許可される範囲において、CGS ORIS GmbHまたはその代理店は、本製品、添付マニュアル、あるいは関連製品と関係がある、あるいはそれらから生じた、あるいは使用できない問題における、あらゆる損害についての責任を否認します(ここには、個人的な損害、ビジネス利益の損失、業務情報の喪失、またはその他のあらゆる財政上の損失についての、無制限の、特別、偶発的、結果的、間接的な損害が含まれます)。いかなる場合でも、本契約書の全条項下におけるCGS ORIS GmbHとその代理店の全責任は、ソフトウェアに支払われた実費を上限とするものとします。

このドキュメントに含まれる情報は、予告なく変更されることがあります。



# 目次

第 1:	動作要件.....	1
	OS.....	1
	PCハードウェア.....	1
	測定デバイス.....	1
	ソフトウェアライセンス.....	2
	ファイアウォール設定.....	2
	ユーザー権限.....	2
第 2:	プリンタドライバ (COLOR TUNER、FLEX PACK)をインストールする.....	3
	Roland	
	DG、MutohおよびMasterMaidプリンタ用ドライバのインストール.....	3
第 3:	測定デバイスのドライバをインストールする.....	9
	TECHKONドライバのインストール.....	9
	仮想マシン上の測定操作.....	10
	問題.....	10
	解決策.....	10
第 4:	CGS ORISのインストーラをダウンロードする.....	13
第 5:	プリンタプラグインをダウンロードする (COLOR TUNER、FLEX PACK).....	15
第 6:	CGS ORISプログラムとHotfixをインストールする.....	17
	インストールがブロックされる場合.....	20
	インストールで追加されるコンポーネント.....	21
第 7:	CGS ORISソフトウェアをアクティベートする.....	23
	オンラインライセンスを有効化する.....	23
	ドングル用ライセンスファイルの読み込み.....	24
第 8:	ネットワークフォルダのアクセス有効化.....	27
	リモートPCでの操作.....	27
	ローカルPCでの操作.....	30



# 1

## 動作要件

### OS

対応するWindowsのバージョン:

- Windows 11 Pro、10
- Windows Server 2022、2019、2016

CGS ORISプログラムの全バージョン一覧は、[www.cgs-oris.com](http://www.cgs-oris.com)にアクセスして、**Support > Service & Support > Windows Compatibility**を選択すると確認できます。

### PCハードウェア

最低条件:

- デュアルコアCPU、RAM8GB、HDD250GB

推奨環境(パフォーマンスとスループット優先):

- インテル Core i7プロセッサ(第六世代)またはそれ以上
- RAM 16GB以上
- SSD 500GB以上

### 測定デバイス

CGS ORIS 製品は、X-Riteおよび コニカミノルタの最新デバイスを含む、幅広いレンジの分光光度計、チャートスキャナ、スキャンテーブルに対応しています。COLOR TUNER およびFLEX PACKは、さらにEPSON SpectroProofer ILS30などの測定器内蔵にも対応しています。

詳細については、[www.cgs-oris.com](http://www.cgs-oris.com)にアクセスして、**Products**メニューからご希望の製品を選び、ページを下にスクロールして+ **Supported measurement devices**セクションを展開してください。

## ソフトウェアライセンス

- CGS ORISソフトウェアのオンラインライセンス、または:
- USBポート用ソフトウェア保護 dongle (有料)
- オプション機能の追加ライセンス

有効なソフトウェアライセンスなしに同製品を起動すると、CGS ORISプログラムは30日間すべての機能が使用できるデモ版として動作します。30日間の試用期間が終わると、出力が行えなくなります。

試用期間中は以下の制限が適用されますので、ご注意ください。

- デモモードで作成されたカラーテーブルは、正規版のCGS ORISプログラムでは使用できません。
- 適宜、ウォーターマークが追加されます。
- 追加ライセンスが必要なオプション機能は使用できません。
- COLOR TUNER および FLEX PACK: 出力できるプリンタは1台に制限されます。

## ファイアウォール設定

CGS ORISライセンスサーバー [www.orislicensing.com](http://www.orislicensing.com) とのライセンスとメンテナンス情報の確認は、安全なSSL接続を介して行われます。

CGS ORISライセンスサーバーがHTTPS 443番ポート経由でアクセス可能で、お使いのネットワークのファイアウォールでブロックされないことを確認ください。そうでなければ、サーバーURLをブロックの対象外にするよう、ファイアウォール設定を変更してください。

CGS ORISプログラムのアップデート自動通知機能が動作していて、アップデートが利用可能になり次第スムーズに適用することが出来るようにするためにも、ライセンスサーバーへのアクセス方法が確保されていることは必要です。

## ユーザー権限

CGS ORISプログラムをインストールするには、管理者権限が必要です。それには、次の2つの方法があります。

- CGS ORISのインストールを行うなう前に、管理者権限を持つユーザーとしてWindowsにログオンします。
- 一般ユーザーとして、インストーラを起動します。管理者ユーザーの認証情報を入力するプロンプトが表示されます。



# 2

## プリンタドライバ (COLOR TUNER、FLEX PACK)をインストールする

プリンタをネットワークに接続して、そのプリンタの製造元から提供されたプリンタドライバをインストールします。

1. プリンタをPCに接続する(USB接続以外)。
2. プリンタの製造メーカーのウェブサイトを開く。
3. 純正のプリンタドライバをダウンロードする。
4. ダウンロードしたプリンタドライバをインストールする。





プリンタドライバの接続先には、新規作成した**Standard TCP/IP Port**を選択することを推奨します。それ以外のポートも使用可能ですが、通信品質が劣ることがあります。また、**EpsonNet Print Port**や、類似する専用プリンタポートの使用は、できるだけ避けてください。

## Roland DG、MutohおよびMasterMaindプリンタ用ドライバのインストール

Roland DG、Mutoh、およびMasterMaindプリンタ用Windowsプリンタドライバは用意されていません。このため、ローカルにGeneric TCP/IPプリンターを作成する必要があります。この時、プリンタの名称には、プリンタモデルと搭載インクセットを示す名前を付けてください。

プリンタをネットワークに接続して、プリンタのマニュアルを参照してIPアドレスを割り当てます。プリンタの電源をオンにして、ネットワークを経由してアクセスできることを確認してください。

1. キーを押下するか、Windowsのタスクバーで **検索**ボックスをクリックします。
2. コントロールパネルと入力して、**Enter**を押します。
3. **デバイスとプリンター**をクリックします。
4. Windows 10:
  1. **プリンターまたはスキャナーを追加します**をクリックします。
  2. **プリンターが一覧にない場合**をクリックします。

5. Windows 11:

1. プリンタとスキャナーセクションを展開します。
  2. デバイスの追加をクリックします。
  3. しばらく待ってから、プリンターが一覧にない場合の項目が表示されるまでリストを下にスクロールします。
  4. 手動で追加をクリックします。
6. ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加するを選択します。
7. 新しいポートの作成を選択したら、ポートの種類リストで**Standard TCP/IP Port**を選択します。
8. プリンタのIPアドレスを入力します。
9. プリンタの電源がオフの場合、またはアクセスできない場合は、デバイスの種類の選択を求められます。標準と**Generic Network Card**の項目は、デフォルトのままにします。
10. 製造元に**Generic**、プリンタに**Generic/Text Only**をそれぞれ選択します。
11. 以下に示すとおり、プリンタ名を指定します。



プリンタ名が、ここで示すとおり指定されていることを確認してください。本プログラムは、各プリンタに搭載されたインクセットをWindows上でのプリンタ名で識別します。

表 2.1: Roland SOLJET シリーズ

プリンター	インクセット	入力するプリンタ名
PRO4 XR-640	ECO-SOL MAX2	Roland XR-640
	XGインク	Roland XR-640 XGINKS

表 2.2: Roland TrueVIS シリーズ

プリンター	インクセット	入力するプリンタ名
VG3-640	CMYK、k、オレンジ、グリーン、ホワイト	Roland VG3-640
	CMYK、cmk、ホワイト	Roland VG3-640 CMYKLCLMLKWH
	2x CMYK	Roland VG3-640 CMYK

表 2.2: Roland TrueVIS シリーズ

プリンター	インクセット	入力するプリンタ名
VG3-540	CMYK、k、オレンジ、グリーン、ホワイト	Roland VG3-540
	CMYK、cmk、ホワイト	Roland VG3-540 CMYKLCLMLKWH
	2x CMYK	Roland VG3-540 CMYK
VG2-640	TrueVIS TR2	Roland VG2-640
VG2-540	TrueVIS TR2	Roland VG2-540

表 2.3: Roland VersaCAMM シリーズ

プリンター	インクセット	入力するプリンタ名
VS-640i	ECO-SOL MAX2	Roland VS-640i
	XG INKS	Roland VS-640i XGINKS
VS-540i	ECO-SOL MAX2	Roland VS-540i
	XG INKS	Roland VS-540i XGINKS
VS-300i	ECO-SOL MAX2	Roland VS-300i
	XG INKS	Roland VS-300i XGINKS
VS-640	ECO-SOL MAX	Roland VS-640
	XG INKS	Roland VS-640 XGINKS
VS-540	ECO-SOL MAX	Roland VS-540
	XG INKS	Roland VS-540 XGINKS
VS-420	ECO-SOL MAX	Roland VS-420
	XG INKS	Roland VS-420 XGINKS
VS-300	ECO-SOL MAX	Roland VS-300
	XG INKS	Roland VS-300 XGINKS

表 2.4: Roland VersaUV シリーズ

プリンター	インクセット	入力するプリンタ名
LEF-200	ECO-UV	Roland LEF-200
	ECO-UV4	Roland LEF-200 ECOUV4

表 2.4: Roland VersaUV シリーズ

プリンター	インクセット	入力するプリンタ名
LEF2-200	ECO-UV	Roland LEF2-200
	ECO-UV4	Roland LEF2-200 ECOUV4
LEF-300	ECO-UV4	Roland LEF-300
LEF2-300	ECO-UV4	Roland LEF2-300
LEC2-300	CMYK	Roland LEC2-300 CMYK_EUV4
	CMYK、ホワイト、グロス	Roland LEC2-300
LEC2-330	CMYK、ホワイト×2、グロス×2	Roland LEC2-330
	2x CMYK	Roland LEC2-330 CMYK
	CMYK、オレンジ、グロス、レッド、ホワイト	Roland LEC2-330 CMYKORREGLWH <sup>1</sup>
LEC2-640	CMYK、ホワイト×2、グロス×2	Roland LEC2-640
	2x CMYK	Roland LEC2-640 CMYK
	CMYK、オレンジ、グロス、レッド、ホワイト	Roland LEC2-640 CMYKORREGLWH <sup>1</sup>
LEC-540	ECO-UV、 ECO-UV3 または ECO-UV S	Roland LEC-540
LEC-330		Roland LEC-330
LEC-300、 300A		Roland LEC-300
LEJ-640		Roland LEJ-640

1 コールドフォイルグロスの目的で使用する場合に入力するプリンタ名

表 2.5: Mutoh ValueJetシリーズ

プリンター	インクセット	入力するプリンタ名
VJ-628MP	CMYK	MUTOH VJ-628MP
	CMYK+ホワイト	MUTOH VJ-628MP CMYKWH
	CMYK+cm	MUTOH VJ-628MP CMYKLCLM
	CMYK+cm+ホワイト	MUTOH VJ-628MP CMYKLCLMWH
	CMYK+cmk	MUTOH VJ-628MP CMYKLCLMLK
	CMYK+cmk+ホワイト	MUTOH VJ-628MP CMYKLCLMLKWH
	CMYK+オレンジ、グリーン、ブルー	MUTOH VJ-628MP CMYKORGRBL
	CMYK+オレンジ、グリーン、ブルー、ホワイト	MUTOH VJ-628MP CMYKORGRBLWH
VJ-1617H	CMYK	MUTOH VJ-1617H
	CMYK+ホワイト	MUTOH VJ-1617H CMYKWH
VJ-1627MH	CMYK	MUTOH VJ-1627MH
	CMYK+ホワイト	MUTOH VJ-1627MH CMYKWH
	CMYK+cmk	MUTOH VJ-1627MH CMYKLCLMLK
VJ-1628MH	CMYK+cmk+ホワイト	MUTOH VJ-1628MH CMYKLCLMLKWH
	CMYK+ホワイト+ホワイト	MUTOH VJ-1628MH CMYKWH
	CMYK+オレンジ、グリーン、ブルー	MUTOH VJ-1628MH CMYKORGRBL
	CMYK+オレンジ、グリーン、ブルー、ホワイト	MUTOH VJ-1628MH CMYKORGRBLWH

表 2.6: MasterMaid StreamMasterシリーズ

入力するプリンタ名
MasterMaid StreamMaster WG-V 640
MasterMaid StreamMaster WG-V 540
MasterMaid StreamMaster WG-V 300
MasterMaid StreamMaster WG 640
MasterMaid StreamMaster WG 540
MasterMaid StreamMaster WG 300

# 3

## 測定デバイスのドライバをインストールする

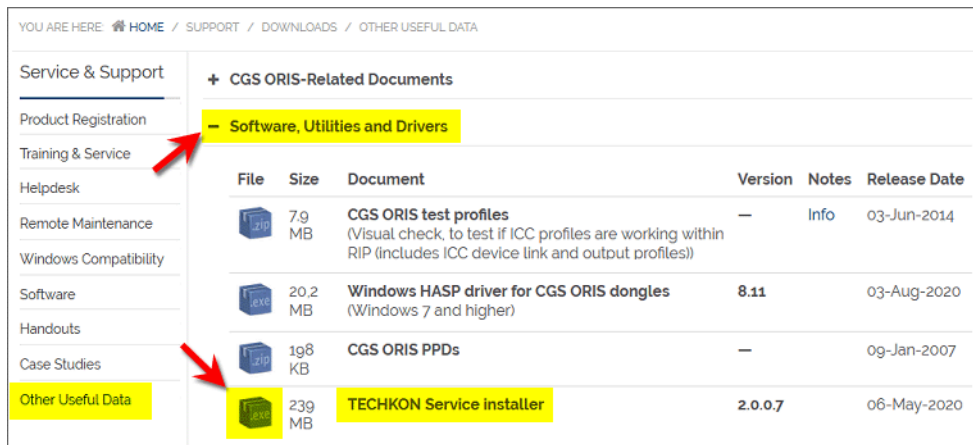
測定デバイスを接続して、その製造メーカーが配布する純正デバイスドライバをインストールします。





1. 測定器を、PCのUSBポートまたはネットワークに接続します。  
測定器はUSBポートに直接接続することを推奨します。USBハブを介した場合、デバイスが正常に動作しないことがあります。
2. 測定デバイスにドライバが収録されたCDやDVD-ROMが付属していない場合は、製造メーカーのウェブサイトから適合する純正ドライバをダウンロードしてください。
3. メーカーの指示に従って、デバイスドライバをインストールします。

## TECHKONドライバのインストール

TECHKON製測定デバイスを使用するには、TECHKON Device Serviceをインストールして起動しておく必要があります。同サービスのインストールは、CGS ORISウェブサイトからダウンロードできます。

1. CGS ORISウェブサイトアクセスします。
2. **Support > Downloads > Other Useful Data**を選択します。
3. **+ Software, Utilities and Drivers**ボタンをクリックして、リストを展開します。
4. **TECHKON Device Service**協の  アイコンをクリックして、TDSservice.n.exeファイルをPCにダウンロードします。  
nの文字は、バージョン番号を示しています。
5. TDSservice.n.exeをダブルクリックして、TECHKON Device Serviceをインストールします。
6. PCを再起動するか、インストールしたサービスを手動で開始します。



File	Size	Document	Version	Notes	Release Date
	7.9 MB	<b>CGS ORIS test profiles</b> (Visual check, to test if ICC profiles are working within RIP (includes ICC device link and output profiles))	—	Info	03-Jun-2014
	20.2 MB	<b>Windows HASP driver for CGS ORIS dongles</b> (Windows 7 and higher)	8.11		03-Aug-2020
	198 KB	<b>CGS ORIS PPDs</b>	—		09-Jan-2007
	239 MB	<b>TECHKON Service installer</b>	2.0.0.7		06-May-2020

## 仮想マシン上の測定操作

CGS ORISを仮想マシン上で使用している場合にX-Rite製デバイスを使用するには、USB-ネットワークアダプタが必要になることがあります。

### ■ 問題

COLOR TUNER、FLEX PACK、PRESS MATCHER、または X GAMUTを仮想マシンにインストールしたケースを検討します。VMWareなどのツールで作成された仮想マシンは、特定のコンピュータシステムをエミュレートします。

X-Rite製測定デバイスを仮想マシンにインストールした場合、その接続または正常な動作は保証できません。現状では、ほぼ同一の仮想環境下でもユーザーによって動作の可否が変わることが確認されています。X-Rite は次のように述べています。

当該製品のSDKは仮想マシン上ではテストされておらず、そのような環境下はサポート対象外です。

### ■ 解決策

SEH Computertechnik GmbH製**USB Device Server**のようなUSB-ネットワークアダプタを介して、測定デバイスをPCに接続します。この方法は、CGS ORISによって動作が確認されています。

**USB Device Server** は、USBデバイスをネットワークにインテグレートする、ハードウェアベースのソリューションです。同製品は、VMWareのような、仮想環境に対応しています。

現在、販売中の**USB Device Server**モデルは以下の種類です。

- **utnserver Pro** USBポート×2
- **utnserver ProMAX** USBポート×4



**USB Device Server**をネットワークに統合し、そのUSBポートに測定器を接続します。

また、仮想マシンに**SEH UTN Manager**をインストールします。このソフトウェアで、**USB Device Server**のUSBポートを仮想マシンに割当てられます。すると、あたかも測定デバイスが仮想マシンに直接接続されているかのように、利用できるようになります。

詳細については、SEHウェブサイト [seh-technology.com](http://seh-technology.com) を参照してください。

図 3.1: SEH utnserver Pro





# 4

## CGS ORISのインストーラをダウンロードする

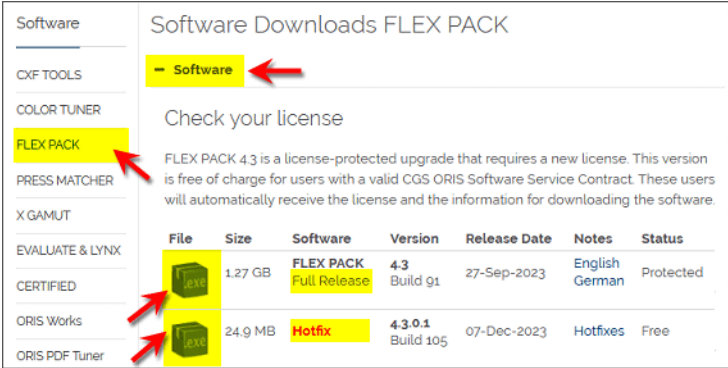
CGS ORISウェブサイトから、最新のCOLOR TUNER、FLEX PACK、PRESS MATCHER、または X GAMUT用インストールファイルをダウンロードします。該当するバージョン向けにHotfixがリリースされている場合は、それも合わせてダウンロードしてください。

1. CGS ORISウェブサイト[www.cgs-oris.com](http://www.cgs-oris.com)にアクセスします。
2. **Support > Downloads > Software**を選択して**Software Downloads**ページを開きます。
3. 画面左側の**Products**メニューで、希望するCGS ORISプログラムを選択します。
4. **+ Software**ボタンをクリックすると、
5. ソフトウェアの最新をPCにダウンロードするには、一行目の**Full Release**の横にある  アイコンをクリックします。
6. CGS ORISパートナーから受け取ったユーザー名とパスワードを入力します。
7. Hotfixをダウンロードするには、二行目の**Hotfix**の横にある  アイコンをクリックします。

CGS ORIS のインストールファイルの名前

は、<製品名><バージョン.>\_<ビルド番号.>の命名規則に従って付けられています。例:

FP43_91.exe	FLEX PACKバージョン4.3ビルド91用インストーラ
FP4301_105_Hotfix.exe	FLEX PACKバージョン4.3からバージョン4.3.0.1ビルド105へのアップデート用Hotfixインストーラ





Software Downloads FLEX PACK

Software

Check your license

FLEX PACK 4.3 is a license-protected upgrade that requires a new license. This version is free of charge for users with a valid CGS ORIS Software Service Contract. These users will automatically receive the license and the information for downloading the software.

File	Size	Software	Version	Release Date	Notes	Status
	1.27 GB	FLEX PACK Full Release	4.3 Build 91	27-Sep-2023	English German	Protected
	24.9 MB	Hotfix	4.3.0.1 Build 105	07-Dec-2023	Hotfixes	Free

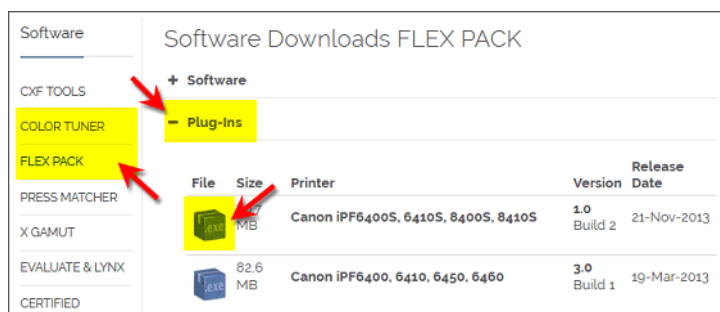


# 5

## プリンタプラグインをダウンロードする (COLOR TUNER、FLEX PACK)

一部のCanonおよびEPSONプリンタを使用する場合は、CGS ORISプログラムのインストールにあたり、追加でプリンタプラグインのインストールが必要になることがあります。追加プラグインが必要なプリンタについては、CGS ORISウェブサイトを参照してください。

1. CGS ORISウェブサイト[www.cgs-oris.com](http://www.cgs-oris.com)にアクセスします。
2. **Support > Downloads > Software**を選択して**Software Downloads**ページを開きます。
3. 画面左側の**Products**メニューで、**COLOR TUNER** または**FLEX PACK** を選択します。
4. **+ Plug-Ins**ボタンをクリックして、プリンタプラグインのリストを展開します。
5. お使いのプリンタが表示されるまで、リストを下にスクロールします。
6.  アイコンをクリックして、プラグイン(\*.exe)をPCにダウンロードします。





# 6

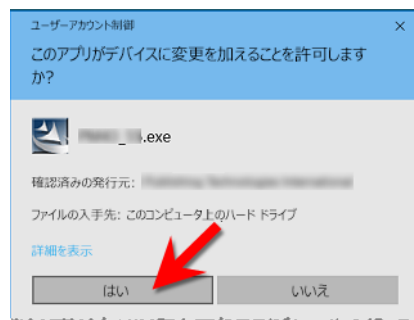
## CGS ORISプログラムとHotfixをインストールする

CGS ORISウェブサイトからダウンロードした\*.exeファイルをダブルクリックして、COLOR TUNER、FLEX PACK、PRESS MATCHER、またはX GAMUTのインストールプログラムを開きます。ウィザードが開始して、必要なプロセスを順を追ってガイドします。ユーザーが変更可能な設定項目も、通常はデフォルト値から変更しないことを推奨します。Hotfixをダウンロードした場合は、インストールウィザードを終了後に、同様の手順でインストールしてください。

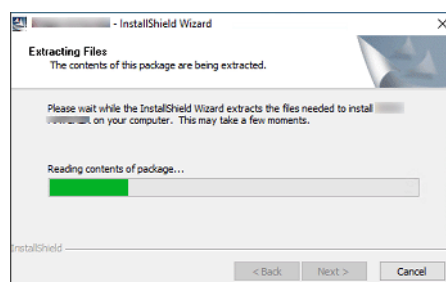
インストールに必要なファイルの読み込みがブロックされることがあるため、アンチウイルスソフトをお使いの場合は、その機能を一次的に無効化することをお勧めします。

1. ダウンロードしたCGS ORISのインストールプログラム(\*.exe)が保存されているフォルダを開きます。
2. 該当するファイルをダブルクリックします。

以下の様な画面が表示されます。



3. 一般ユーザーのアカウントで操作している場合は、管理者権限を持つWindowsユーザーのログイン情報の入力を求められます。  
ユーザー名とパスワードを入力します。
4. プロンプトを閉じるには、はいをクリックします。
5. すべてのファイルが展開されるまで、しばらくお待ちください。



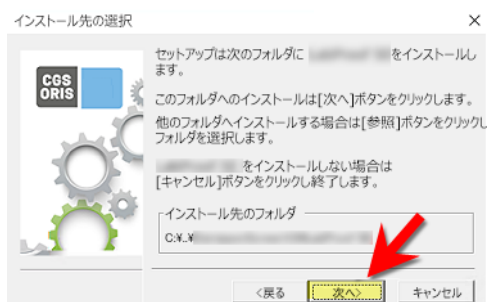
6. **次へ>**をクリックして、インストールを開始します。ウィザードが開始して、必要なプロセスを順を追ってガイドします。



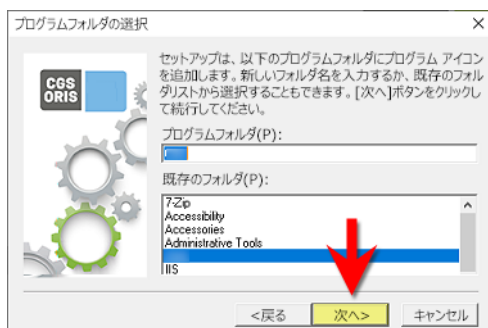
7. **次へ>**をクリックして、インストール先としてデフォルトのフォルダを選択します。

本プログラムは、デフォルト設定ではPCのシステムドライブ(通常はC:)にインストールされますが、例えばD:など別のドライブを選んでインストールすることもできます。

ただし、SQLデータベースやプリントスプーラ、一部の作業ファイルは、常にシステムドライブに保存されるため、同ドライブには、ある程度の空き容量が必要であることに注意してください。

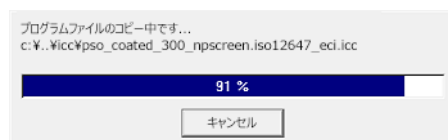


8. **次へ>**をクリックして、プログラムアイコンを保存するデフォルトのインストール先フォルダを選択します。



9. プログラムファイルのコピーが完了するまで、少しお待ちください。





10. プラグインで利用可能な追加ファイルが特定のCanonおよびEPSONプリンタに必要なため、COLOR TUNERまたはFLEX PACKのインストールで、次の画面が表示されます。お使いのプリンタがリストに記載されていた場合は、以下の手順を実行してください。されていない場合は、**次へ>**をクリックしてステップ11に進みます。

1. プリンタを選択して、インストールボタンをクリックします。



2. プリンタのプラグインファイルをダウンロードしたフォルダに移動します。同フォルダにある\*.exeファイルを選択します。
3. プラグインのインストールが完了するまで、少しお待ちください。



4. 別のプリンタ用プラグインをインストールするには**はい**を、しないなら**いいえ**をクリックします。



11. ドングルは、この段階でPCのUSBポートに差し込んでください。**次へ>**をクリックします。



12. インストールのプロセスが完了したら、完了をクリックします。



最後のウィザード画面でこのオプションを無効にしていない限り、CGS ORISプログラム用のリリースノートがブラウザで開きます。

お使いのバージョンのCGS ORISプログラムにHotfixがリリースされている場合:

13. Hotfixのインストールプログラム(\*\_Hotfix.exe)をダウンロードしたフォルダを開きます。

14. 該当するファイルをダブルクリックします。

15. ウィザードが開始して、必要なプロセスを順を追ってガイドします。画面に表示される指示に従ってください。

インストールの操作自体はプログラムのそれと類似していますが、手順に含まれるステップ数は少なくなっています。

## インストールがブロックされる場合

一部のプログラムは、インストールファイルの解凍以降の処理をブロックして、インストールのプロセスを阻害することがあります。その場合は、タスクマネージャでブロックしているプロセスを見つけて終了してください。

1. もしAdobe Creative Cloudの現行バージョンがインストールされていたら、Adobe CCデスクトップアプリを次の手順で終了します。

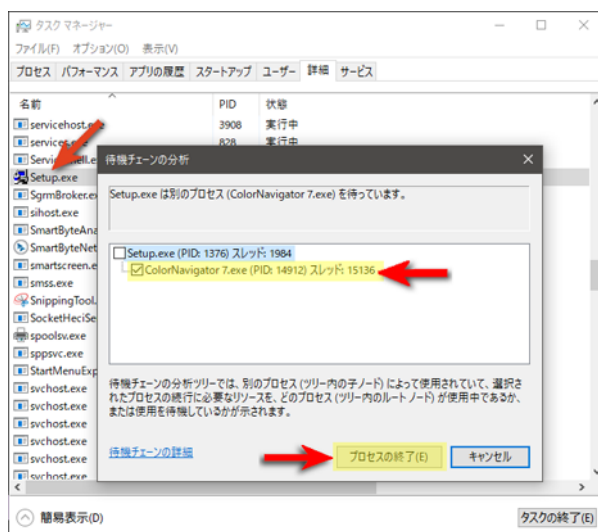
ファイル > **Creative Cloudを終了**を選択したら、続いて**終了**をクリックしてすべての関連バックグラウンドプロセスを停止します。

2. Windowsのタスクマネージャを起動して、**詳細**タブをクリックします。

3. Setup.exeを右クリックして、**待機チェーンの分析**を選択します。

4. Setup.exeに属するプロセスがインストールを阻害しています。このプロセスを選択して終了してください。

図 6.1: CGS ORISのインストールをブロックしているプロセスを終了する



## インストールで追加されるコンポーネント

CGS ORISプログラムをインストールすると、各種Windowsシステムコンポーネントに加えてCERTIFIEDがPCにインストールされます。

CGS ORISプログラム本体に加えてインストール/作成される各種コンポーネントは、以下の通りです。

- CERTIFIED
- Microsoft Internet Information Services (IIS)
- SQLデータベース
- 「ORIS-Service」という名前のWindowsユーザー
- このユーザーの権限で実行されるWindowsサービス

製品	Windowsサービス名称
COLOR TUNER	ORIS Color Tuner Service
FLEX PACK	ORIS Flex Pack Service
PRESS MATCHER	ORIS Press Matcher Service
X GAMUT	ORIS X Gamut Service



# 7

## CGS ORISソフトウェアをアクティベートする

送付されたライセンスコードは、CGS ORISプログラムのヘルプ>ライセンス情報>ライセンスをアクティベートコマンドから入力できます。 dongleをお使いの場合は、ヘルプ>ライセンス情報>ライセンスを追加を選択して、お客様のdongle番号が記載された2つのライセンスファイルを読み込んでください。

### オンラインライセンスを有効化する

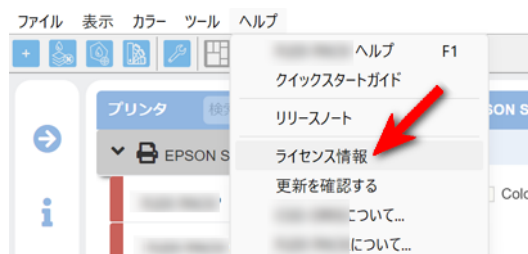
CGS ORISライセンスサーバー [www.orislicensing.com](http://www.orislicensing.com) がHTTPS 443番ポート経由でアクセス可能で、お使いのネットワークのファイアウォールでブロックされないことを確認してください。

1. CGS ORISプログラムを起動します。

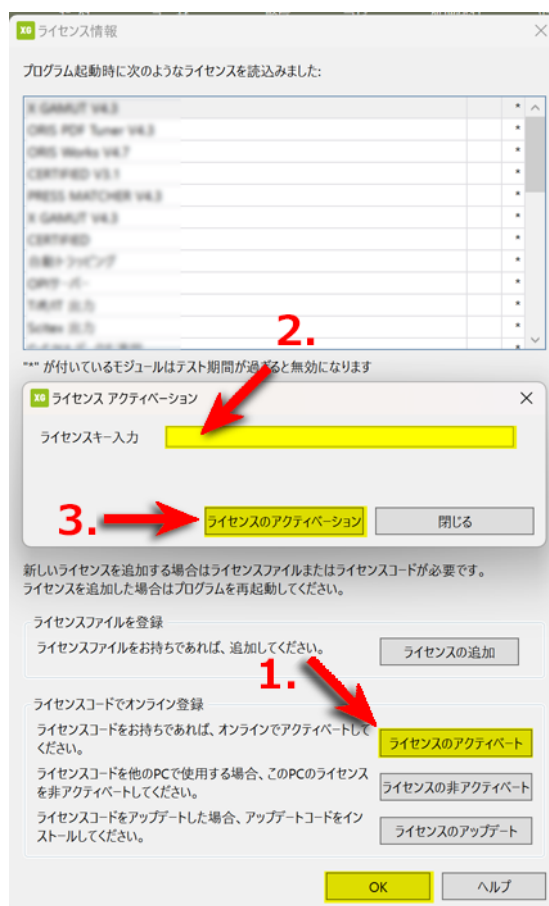
Windowsのスタートメニューを開いてCGSフォルダが表示されるまでスクロールしたら、その中にあるCGS ORISプログラムの名前を選択します。



2. CGS ORISプログラムで、ヘルプ>ライセンス情報を選択します。

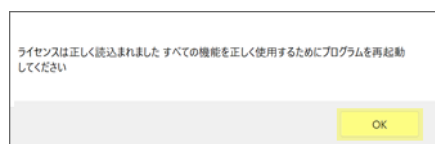


3. ライセンスをアクティベートボタンをクリックします。



4. CGS ORISパートナーから送付されたライセンスコードを入力して、**ライセンスをアクティベート**をクリックします。

確認メッセージが表示されます。



5. **OK**をクリックして、メッセージボックスを閉じます。 **OK**を再びクリックして、**ライセンス情報**ダイアログを閉じます。
6. CGS ORISプログラムを再起動します。

## dongle用ライセンスファイルの読み込み


CGS ORISパートナーからdongle用ライセンスファイル(複数)を受領している場合は、以下の操作を行ってください。これらのファイルを、CGS ORISプログラムのヘルプ > ライセンス情報 > ライセンスを追加 コマンドを使って、同プログラムに読み込んでください。

ライセンスファイルには、<ドングル番号>\_D<n>\_<有効期限>.txtの命名パターンに沿った名称が与えられています。ファイル2つで一組のライセンスを構成しており、それぞれのファイルには次のような名称が付けられています。

例:

- U10830\_D1\_31.07.2024.txt
- U10830\_D3\_31.07.2024.txt

### 1. CGS ORISプログラムを起動します。

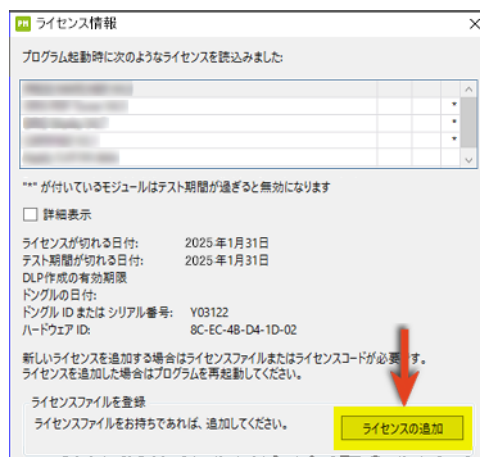
Windowsのスタートメニュー を開いてCGSフォルダが表示されるまでスクロールしたら、その中にあるCGS ORISプログラムの名前を選択します。



### 2. CGS ORISプログラムで、ヘルプ > ライセンス情報を選択します。

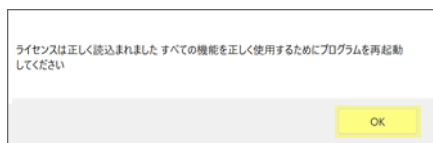


### 3. ライセンスを追加ボタンをクリックします。ファイル選択ボックスが開きます。



4. 2つで一組のライセンスファイルの、一つ目のファイル(\*D1\*.txt)を選択します。

確認メッセージが表示されます。



5. **OK**をクリックして、メッセージボックスを閉じます。
6. CGS ORISプログラムを再起動します。
7. ヘルプ > ライセンス情報 > ライセンスを追加を再度選択します。
8. 一組のライセンスファイルの、二つ目のファイル(\*D3\*.txt)を選択します。
9. **OK**をクリックして、メッセージボックスを閉じます。
10. CGS ORISプログラムを再起動します。



# 8

## ネットワークフォルダのアクセス有効化

CGS ORISプログラムで共有ネットワークフォルダにあるジョブを処理したり、そのような場所にファイルを書き込んだりできるようにするには、全ユーザーがこれらのフォルダにフルアクセスできるように設定してください。さらに、CGS ORISプログラムのWindowsサービスの名称を、ローカルSYSTEMアカウントで実行されるよう変更します。

プリントデータの計算とファイル出力処理、およびそのためのバックグラウンド処理は「ORIS Color Tuner Serviceまたは、それぞれORIS Flex Pack Service、ORIS Press Matcher Service、ORIS X Gamut Service」という名前のWindowsサービスによって行われます。セキュリティ上の理由で、このサービスは専用のWindowsアカウント「ORIS-Service」の下で動作します。

ORIS Color Tuner Service、ORIS Flex Pack Service、ORIS Press Matcher Service、または ORIS X Gamut Serviceは、ネットワークフォルダにアクセスする権限を付与されていません。このため、以下の動作は権限の不足を理由に失敗することがあります。

- ネットワーク中のリモートPC上あるウォッチフォルダから入力ファイルを取得する。  
リモートフォルダにあるジョブの処理は行えないことを意味します。
- リモートPC上のエラーまたはサクセスフォルダへ入力ファイルを書き出す。  
処理後のジョブを保存できないことを意味します。
- 入力されたファイルを、リモートPC(PRESS MATCHER、X GAMUT)上の出力フォルダに書き出す。  
これはつまり、ファイルの変換結果を保存できないことを意味します。

## リモートPCでの操作

CGS ORISプログラムからアクセスするリモートコンピュータ上で、共有フォルダのアクセス権を設定します。ファイル共有の設定自体も必要なら、それも行ってください。すべてのユーザーに、読み取りと書き込みのパーミッションが必要です。

以下は、Windows PCでアクセス権を設定する手順です。

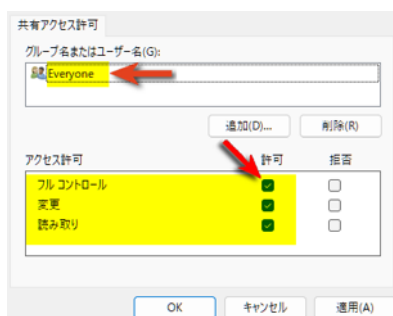
1. フォルダを右クリックして、プロパティを選択します。
2. 共有タブを選択します。
3. 詳細な共有をクリックします。



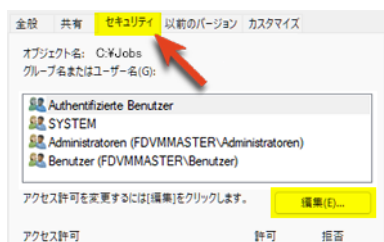
4. このフォルダーを共有するオプションをオンにします。
5. オプション:共有名ボックスの名前を変更します。
6. アクセス許可ボタンをクリックします。



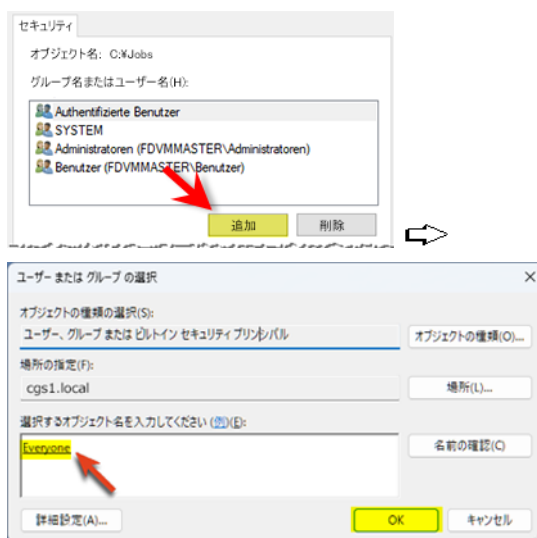
7. すべてのユーザーのユーザーを選択します。
8. 必要に応じて、パーミッションを設定してください。  
例えば読み取りまたは書き込みパーミッションを付与するには、フルコントロール/許可オプションをオンにします。



9. プロパティダイアログに戻るには、OKを2回クリックします。
- 10.セキュリティタブを選択します。



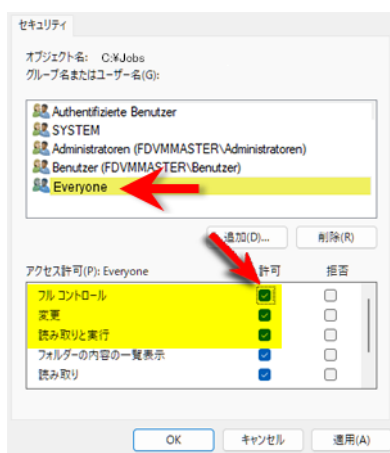
11. すべてのユーザーのユーザーがリストに表示されていないときは、編集 > 追加を選択してすべてのユーザーと入力してから、OKをクリックします。



12. すべてのユーザーのユーザーを選択します。

13. 必要に応じて、パーミッションを設定してください。

例えば読み取りまたは書き込みパーミッションを付与するには、フルコントロール/許可オプションをオンにします。

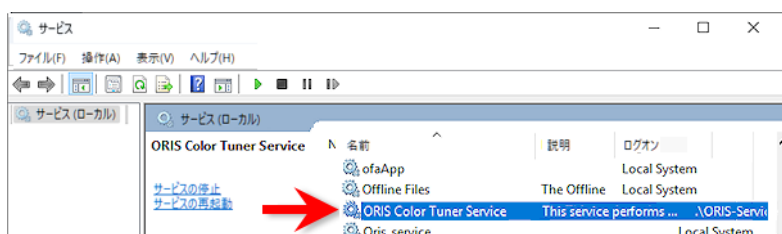


14. OKをクリックして、ダイアログを閉じます。

## ローカルPCでの操作

CGS ORISプログラムが起動しているローカルPCで、以下の手順を実行します。

1. Windowsアイコン田を右クリックして、ファイル名を指定して実行を選択します。
2. services.mscを入力してOKをクリックします。  
Windowsの各種サービスのリストが開きます。
3. **ORIS Color Tuner Service**、**ORIS Flex Pack Service**、**ORIS Press Matcher Service**、または**ORIS X Gamut Service**の項目を選択し、ダブルクリックします。



4. ログオンタブを選択します。  
現在選択中の設定が表示されます(下図参照)。



5. ローカル システムアカウント オプションをオンにします。



6. OKをクリックして、ダイアログを閉じます。